

2024 年度 1 学期

☐問題用紙

☒問題兼解答用紙

☐解答用紙

☐その他()

☐片面印刷

☒両面印刷(上下同)

☐両面印刷(上下逆)

☐綴り

()枚

【解答用紙の種類】

☐別途答案用紙

☐罫線答案用紙

☐マークシート

☐PC 等

1 / 2

科目名

国際金融論

読替名

担当者

前田 淳

試験日

7 月 22 日 月曜 5 時限

※学籍番号や氏名などは、すべての頁のすべての該当箇所に必ず記入すること。記入なき場合には、採点されない場合があります。※解答はすべて各解答欄に記入すること。※配点は設問 10 までが各 8 点で、設問 11 が 20 点(合計点の上限は 100 点)。

(↓学籍番号と氏名をここにも、必ず記入してください。※記入なき場合には、採点されない場合があります。)
学籍番号: 氏名:

- 設問 01 今日の外国為替市場の終値が、 $\$1=\yen\alpha$ で、昨日の終値よりも β 円の円安だったとすると、昨日の終値は、いくらになるか。
 $\$1=\yen[\quad]$ で答えを表記したときの $[\quad]$ に入る適切な式を下の選択肢から選び、番号で解答しなさい。
〔選択肢〕
1. $\alpha \div \beta$ 、2. $\alpha + \beta$ 、3. $\alpha - \beta$ 、4. $\alpha \times \beta$ 解答欄⇒[3]

設問 02 (A\$はオーストラリアドルを表す記号である。) $\$1=\yen100$ 、 $\text{€}1=\$1.5$ 、 $\text{€}1=\text{A}\$2$ 、 $\text{£}1=\text{A}\$3$ と仮定する。そうすると、1 オーストラリアドル= $[\text{①}]$ 円、3 ユーロ= $[\text{②}]$ 円、2 ポンド= $[\text{③}]$ ドル、3 ポンド= $[\text{④}]$ 円、である。①～④に入る数値を下の各解答欄に記入しなさい(式のままではなく、計算した結果を記入すること。
解答欄①⇒[75] 解答欄②⇒[450] 解答欄③⇒[4.5] 解答欄④⇒[675]

設問 03 あなたは卒業旅行でアメリカに行こうと思い、 $\$1=\yen150$ のレートで 15 万円をドルに換えた。ところが、急病のために旅行をキャンセルしたので、そのドルを全額、円に戻したところ、適用されたレートが $\$1=\yen130$ であった。この結果、あなたは何円損したことになるか。万円単位整数一桁で解答しなさい。※手数料は一切かからないと仮定する。
解答欄⇒[2]万円

設問 04 円、ドル、人民元、ユーロ、ポンドの各為替レートが下の場合、円の人民元、ユーロ、ポンドに対するクロスレートは、どのようになるか。下の選択肢から選び、番号で解答しなさい。
解答欄⇒[3]

(為替レート) $\$1=\yen\alpha$ 、 $\$1=\text{RMB}\beta$ 、 $\text{€}1=\$\theta$ 、 $\text{£}1=\text{€}\gamma$
〔選択肢〕
1. $\yen1=\text{RMB}\beta \diagup \alpha$ 、 $\yen1=\text{€}\alpha \times \theta$ 、 $\yen1=\text{£}1 \diagup (\alpha \times \theta \times \gamma)$
2. $\yen1=\text{RMB}\alpha \times \beta$ 、 $\yen1=\text{€}\alpha \times \theta$ 、 $\yen1=\text{£}\alpha \times \theta \times \gamma$
3. $\yen1=\text{RMB}\beta \diagup \alpha$ 、 $\yen1=\text{€}1 \diagup (\alpha \times \theta)$ 、 $\yen1=\text{£}1 \diagup (\alpha \times \theta \times \gamma)$
4. $\yen1=\text{RMB}\alpha \diagup \beta$ 、 $\yen1=\text{€}1 \diagup (\alpha \times \theta)$ 、 $\yen1=\text{£}1 \diagup (\alpha \times \theta \times \gamma)$
5. $\yen1=\text{RMB}\alpha \times \beta$ 、 $\yen1=\text{€}\alpha \times \theta$ 、 $\yen1=\text{£}1 \diagup (\alpha \times \theta \times \gamma)$
6. $\yen1=\text{RMB}\alpha \diagup \beta$ 、 $\yen1=\text{€}1 \diagup (\alpha \times \theta)$ 、 $\yen1=\text{£}\alpha \times \theta \times \gamma$

設問 05 すべての国の経常収支を合計すると、ゼロとなる。その理由として、最も適切な説明はどれか、選択肢から選び番号で解答しなさい。
解答欄⇒[1]

〔選択肢〕
1. たとえば、ある国にとっての輸出は、相手の国にとっては輸入なので、合計するとプラマイゼロとなるからである。
2. たとえば、ある国にとっての輸出は、その決済にかかわる金融収支において、中央銀行のコルレス勘定では対外資産の増、または、対外負債の減となって記録されるからである。
3. たとえば、輸出は、金融収支の外貨準備で同額が記録されるからである。
4. たとえば、輸出は、金融収支のその他(その他投資)で同額が記録されるからである。

設問 06 国際収支の説明として、内容と文が最も適切なものを下の選択肢から選び、番号で解答しなさい。
解答欄⇒[3]

〔選択肢〕
1. 対外直接投資とは、移住者が、外国に支店・支社を作ったり、外国の企業の株を10%超買ったりすることである。
2. 対内直接投資とは、移住者が直接、自国に所在する企業の株を買い占めて子会社化することである。
3. 対外直接投資とは、居住者が、外国に支店・支社を作ったり、外国の企業の株を10%以上買ったりすることである。
4. 対内直接投資とは、居住者が直接、外国の資本を買うことである。

設問 07 中国の外貨準備(ドルまたはユーロ)が増加するケースは、以下のどれか、番号で答えなさい。※正解は一つとは限らない。
解答欄⇒[2、3]

〔選択肢〕
1. 人民元の増価を嫌って、通貨当局が人民元の買介入をしたとき。
2. 人民元の増価を嫌って、通貨当局が人民元の売介入をしたとき。
3. 人民元の増価を嫌って、通貨当局がユーロの買介入をしたとき。
4. 人民元の増価を嫌って、通貨当局がドルの売介入をしたとき。
5. 人民元の減価を嫌って、通貨当局がユーロの買介入をしたとき。
6. 人民元の減価を嫌って、通貨当局がドルの売介入をしたとき。

着席番号	学部学科	学籍番号	氏名	評点

2024 年度 1 学期

☐問題用紙

☒問題兼解答用紙

☐解答用紙

☐その他()

☐片面印刷

☒両面印刷(上下同)

☐両面印刷(上下逆)

☐綴り

()枚

【解答用紙の種類】

☐別途答案用紙

☐罫線答案用紙

☐マークシート

☐PC 等

2 / 2

科目名	国際金融論	読替名		担当者	前田 淳	試験日	7 月 22 日 月曜 5 時限
-----	-------	-----	--	-----	------	-----	------------------

※学籍番号や氏名などは、すべての頁のすべての該当箇所にも必ず記入すること。記入なき場合には、採点されない場合があります。※解答はすべて各解答欄に記入すること。※配点は設問 10 までが各 8 点で、設問 11 が 20 点(合計点の上限は 100 点)。

(↓ 学籍番号と氏名をこのすぐ下にも、再び必ず記入してください。 ※記入なき場合には、採点されない場合があります。)
学籍番号: 氏名:

設問 08 日本の企業や金融機関が外貨建ての対外資産・負債を持っているときに、円高・円安による収益への影響を表で示すこととする。下の各〔 〕に「益」または「損」を記入する場合、正しい組合せはどれか。選択肢から一つ選び番号で解答しなさい。
解答欄⇒〔 3 〕

	外貨建て資産	外貨建て負債
円高	〔 a 〕	〔 b 〕
円安	〔 c 〕	〔 d 〕

〔選択肢〕※選択肢では、〔 〕の a、b、c、d の順で左から記載。
1. 益、益、損、損、2. 損、損、益、益、3. 損、益、益、損、4. 益、損、損、益

設問 09 為替レートがどのような原理によって変化するかを説明した下の文の中で、最も適切なものを選択肢から選び番号で解答しなさい。
解答欄⇒〔 2 〕

〔選択肢〕
1. アセットアプローチによると、一定期間における経常収支レベルの資金の流出入つまり流れが、為替の取引高を形成してレートを左右する。
2. 購買力平価よりも実際の為替レートが自国貨安の場合は、長期的には自国貨は購買力平価に近づき、自国貨高・外貨安になってゆく。
3. 購売力平価よりも実際の為替レートが自国貨安の場合は、長期的には自国貨は購売力平価に近づき、自国貨安・外貨高になってゆく。
4. マネタリーアプローチによると、マネタリーベースなどの貨幣量(通貨量)が他の国よりも多い(増加している)場合、その国の通貨は値上がりする傾向がある。
5. 一般的には金利が高い国の通貨は、減価する傾向がある。

設問 10 日本の経常収支に影響を与える要因を説明した以下の各文の中で、適切なものはどれか。選択肢から選び番号で解答しなさい。(※適切な文は、一つとは限らない。)
解答欄⇒〔 1、2、5 〕

〔選択肢〕
1. 円安は外国からのインバウンド・ツーリズムを増やす要因なので、旅行収支にとっては好材料である。
2. 日本の貿易相手国の経済成長が著しく景気が良い場合は、日本からその国への輸出が増える。
3. 円安は、天然資源を輸入している日本にとって、輸入コスト減なので、円建ての貿易収支にとっては良い材料となる。
4. 高齢化が進んでいる国では、高齢者の貯蓄が比較的多くあるので、IS バランス論でいうところの貯蓄投資バランスは黒字になりがちであり、その結果、経常収支も黒字になる傾向がある。
5. 日本の景気が良くなると日本の輸入が増える。

設問 11 国際収支表の概要を文章で説明しなさい。

〔解答欄〕

着席番号	学部学科	学籍番号	氏名	評点